

「自業自得の休肝日」

過去を振りかえって、この15年間の生活でいわゆる「休肝日」はなかった。つまり、お酒を呑まなかった日が一日たりともなかったという自慢にもならない生活であった。辛口の日本酒(京都伏見の黄桜)の熱燗が大好きで、魚や鶏のお造りをあてにお酒を楽しむのが変わらぬ日々であった。真夏でも熱燗を楽しんでいたぐらいだ。

8年前、ついに糖尿病の一手手前まで来てしまい、医者に焼酎(本格焼酎)を勧められた。麦焼酎から始め、今ではやはり定番の芋焼酎のロックにはまり、日本酒は月に一度の寿司屋でと言う生活を続けてきた。4か月に一度の血液検査、年に一度の健康診断でも肝臓の数値に異常はなく、そういう体に生まれてきたことに感謝してきた(笑)。つまみがなければ呑まないし、量は多くとも酷く酔うこともないので酒癖が悪いと思ったこともない(笑)。

ところが今回それは一転した。先日の保護者会で報告させていただいたが、単身赴任先の益田市で呑んで自転車で転倒し、頭を強打し少し脳にダメージを受けた実に恥ずかしい話だ。まさに自業自得である。このジャーナルが届くころにはほぼ回復しているとは思いますが、少しの立ち眩みとめまいは今でも続いている。

もちろんお酒はタブーなので呑んではいないが、我慢している感がない。どちらかと言うと呑むのが少し怖い感じがしている。呑みたい気持ちはある。ちょっとぐらいいいだろうと2回ほどロックの準備もしたが、不思議なことにグラスに口をつけることはなかった。普段なら「もったいない！」を愚痴る妻も、ロックを捨てる私に見て見ぬ振りをしていた。夕食の食事は変わらないが、お酒の代わりに野菜ジュースと麦茶を呑んでいる(笑)。

転倒現場ではほぼ意識がない状態で病院に運ばれたらしい。通りすがりの人が警察や救急車を呼んでくれていなければどうなっていたのかと思う。多くの人に心配かけてしまい仕事でも随分迷惑をかけてしまった。

自業自得だ。後悔と反省は尽きない。落ち込んでばかりはいられないので、「人間万事塞翁が馬(じんかんばんじさいおうがうま)」ということわざに納得することにした。

ご心配をおかけし本当に申し訳ありません。

(丹羽 豊)